



病院に通院しながらがん治療を受けている際に、同時に
在宅 医療（在宅ケア）が受けられたら便利である/便利
でない理由」「受けたい.受けたくない理由」に関する自
由記述の質的解析

解析結果



2023年3月31日

厚生労働省科学研究費補助金
がん対策推進総合研究事業

「がん治療のどの時期にでも患者・家族や医療介護
機関からアクセス可能な緩和ケアリソース情報を有
する地域緩和ケアネットワークシステムの構築」に
関する研究班

協力：一般社団法人コミュニティヘルス研究機構

もくじ

自由記述の分析.....	2
自由記載の結果.....	2
表1 テーマ分析の結果.....	6
資料 回答プール.....	11

自由記述の分析

I 方法

「病院に通院しながらがん治療を受けている際に、同時に在宅医療（在宅ケア）が受けられたら便利である/便利でない理由」「受けたい.受けたくない理由」の自由記述についてテーマ分析を行った。

前者は 980 件、後者は 980 件の記述があった。

教示文は、「病院に通院しながらがん治療を受けている際に、同時に在宅医療（在宅ケア）が受けられたら便利である/便利でないとお答えになった理由を具体的にお知らせください」、「病院に通院しながらがん治療を受けている際に、同時に在宅医療（在宅ケア）が受けられたら活用したい/活用したくないとお答えになった理由を具体的にお知らせください」であったが、回答は類似していたためまとめて 1960 データを解析した。

大カテゴリーを【】、小カテゴリーを<>、引用を「」で示す。

II 結果

分析の結果を表1に示す。

I 全体的な意見

全体として、【イメージがつかないのでどちらともいえない/その時にならないとわからない】という回答が多かった。ある回答者は、利用したいかどうかは「その仕組みを理解してからの事と思う」と回答した。答えられない理由は、<イメージがつかないのでどちらともいえない>という具体的な知識そのものがないという場合と、<その時にならないとわからない>という知識があったとしてもその時にならないとわからないという場合とがあった。

また、在宅医療を通院で抗がん治療を受けながらという前提ではなく、動けなくなってからうけるものだと認識して回答したものは「家族の負担になる」との回答がしばしば見られたが、この回答は本研究の趣旨と異なるため分析からは除外した。質問の本来の意図で、「抗がん治療を通院で受けながら、在宅医療設ける」という前提で回答したもののうち、在宅医療を肯定的にとらえた意見と否定的な意見とは両方が見られた。

2 在宅医療に肯定的な意見

在宅医療に肯定的な意見としては、【通院する労力が減る】、【容貌の変化で外出したくない】、【ゆっくり関わってほしい】、【苦痛や不安が緩和される】、【急に変化があるときに来てもらえる】、【進行したときに継続して診てもらえる】、【安心だから】がみられた。

(1) 【通院する労力が減る】

通院することに伴う時間や体力といった労力が減ることを多くの回答者が挙げた。<通院の

時間がかからない>こと、病院での<待ち時間がかからない>ことがまず挙げられた。

患者側から見れば、特に体力の低下があるときに<体力の消耗が減る>ことや、<体調が悪い時に助かる>ことが挙げられた。通院という行為が単に移動をするということだけでなく、患者から時間や体力を奪うものであることがわかる。

さらに、より個別のこととしては、<感染の予防や対応になる>ことが COVID-19 の流行下での懸念への対応となることが述べられた。在宅医療を希望する患者としては、自動車免許がないなど<通院手段がない時に助かる>場合と、がんに罹患する前から麻痺があるなど<身体的な不自由がある>場合が挙げられた。

在宅医療を併用するとするならば、<通院と通院のあいだでみてほしい>といった希望や、<タキサン投与後の送迎が不要になる>ことが挙げられた。一方で、前提として、<病院で行うことと同じことが行われる必要がある>こと、<在宅診療でも時間の拘束が変わらない可能性がある>（から、在宅医療を併用するなら時間的制約はないことが前提となる）こと、また、はじめての状況ではなくて同じエピソードへの<同じ状態で同じ対応なら使いやすい>ことが述べられた。

(2)【ゆっくり関わってほしい】

在宅医療では、<病院よりもゆっくり親身に相談に乗ってくれると思う>ことが多くの回答者から述べられた。ある患者は、「(病院の)医師の診察は、毎回平均約 30 分程度。聞き漏らしたり、分からないことがある時に十分な時間が取れない。後で仕方なく専門の本を読んで自身に頭で理解させている(必要に応じてネットも調べる)。しかし回答が見いだせない時は、担当医がいなくコンタクト出来ない。ケアをして頂ける人が自宅に来てくれるなら精神面等を含め大変助かる」と述べ、病院での診療よりもじっくりと丁寧な対応を求めていると考えられる。

(3)【苦痛や不安が緩和される】

在宅医療に期待される役割として、苦痛や不安の緩和も多く指摘された。内容としては、がん治療と直接関係ない苦痛や不安の緩和として<抗がん治療に関わらないがんに関連する苦痛の緩和をしてほしい>、<精神的な不安を減らせればいい>が挙げられた一方で、<抗がん治療に関する副作用の対応をしてほしい>、<専門的な情報やアドバイスがほしい>といった声も同じくらい認められた。

例えば、抗がん治療の副作用の対策を期待する意見としては、「最近主人にも食道がんが見つかりました。手術の前に抗がん剤治療をうけてがん細胞を小さくしています。その際に 1 週間ほど入院するのですが、退院後ひどい副作用が出て自宅でケアが大変でした。こういう時こそ在宅ケアが受けられれば助かると思います」のように、入院治療後の抗がん治療の副作用への対応が期待されていた。

この他に、【急に変化があるときに来てもらえる】といった急な状態の変化の時の在宅医療での対応への期待や、【進行したときに継続して診てもらえる】といった終末期での在宅療養の時の安心について述べた意見があった。

以上をまとめると、抗がん治療と並行する在宅医療に期待されることとしては、①安定しているときに希望する患者に病院と同等の医療を提供することで通院にかかる時間的労力が減少すること、②体調が悪い時や体力がない時に在宅医療を行うことで患者の体力の維持したり苦痛緩和を行うことにつながる（抗がん治療の副作用の対応を含む）、③病院での診療よりもじっくりと関わることで患者の不安を軽減すること、④急な状態の変化の時の往診の対応や進行したときの在宅療養に移行した場合の安心感などがあると考えられる。

3 在宅医療に否定的な意見

否定的な意見としては、【病院のほうが安心・在宅医療の必要性はない】、【お金がかかる】、【考えたくない・在宅医療が必要な状態になりたくない】、【異なる意見がきけてよい/かえって混乱する】、【家に来られたくない】が挙げられた。

(1) 【病院のほうが安心・在宅医療の必要性はない】

特に多く挙げられたのは、通院していれば、在宅医療は必要ないという意見であった。

必要ないと考える背景としては、大きく3つの考え方があった。1つは、「CT や超音波など大きな医療機器を使う検査の後薬をもらう治療のため」といった診察のため<病院の定期通院に加えて在宅医療で行うことがない>というものであった。2つは、「それでもありとあらゆる治療をして最期的手段にしたい」という意見の代表される<検査や治療など専門的な対応を受けたい>という価値観である。3つには、「通院できるのならできるだけそこでまとめたい」のように、どのみち通院しているので通院で解決すればいいという<通院に困難がないので通院でよい(在宅医療の必要がない)>であった。

具体的に病院と在宅医療を併用するとした場合の懸念としては3つあげられた。1つは、患者の状態や検査所見が随時共有できるのかという<病院と在宅医療とで情報の共有ができないと思う>懸念、2つは、在宅医療の医師ががんに詳しくないという<在宅医療の担当者ががんに詳しくない>との懸念、3つは、「がん治療受けている段階で在宅医療を受けるとどちらの医療方法を信じて良いのか混乱する」といった【異なる意見がかえって混乱する】懸念である（後者については、異なる意見がきけるのはいいとの意見もある）。

(2) 【考えたくない・在宅医療が必要な状態になりたくない】

すくなくない回答者が、抗がん治療を受けている時期に【考えたくない・在宅医療が必要な状態になりたくない】と回答した。これには、<在宅医療の必要性について考えたくない>という意見と、<在宅医療が必要な状態になりたくない>とが挙げられた。後者では、「病院に通院すること自体もがんと向き合うモチベーションになっている」と回答した患者がいた

(3) 【お金がかかる】、【家に来られたくない】

この他に、一般的に在宅医療に関する懸念として、【お金がかかる】、【家に来られたくない】（<家に来られると気をつかう・来てほしくない>、<近所の人に知られたくない>）が挙げられた。比較的若年のがん患者は、「家に他人を基本入れたくないので。友人との会食は外でしかしな

いし、マンションの定期的なメンテナンスの業者さんが来るとかいうのも本当は嫌だと思いうタイプの人間なのでプライベートな空間に入られるとそれ自体がストレスになって病気が良くならない気がする」と述べた。

以上をまとめると、抗がん治療と並行する在宅医療に否定的な理由としては、一般的な在宅医療にもあてはまることとして、①費用がかかること（費用に見合わない可能性があること）、②家に来られたくないこと、③在宅医療について考えることは動けなくなる（具合が悪くなる）ことを連想させることやできるだけの治療をうけたいことが挙げられた。がんに特徴的だと考えられることとして、④抗がん治療や機器の必要な検査をうけるためにどのみち通院するので在宅医療でカバーできないことがないこと、⑤がんに関する時間経過で変わりやすい状況をリアルタイムで共有できることに懸念があること、⑥在宅医療のスタッフががんに詳しいとは限らないことが挙げられた。

4 内容分析のまとめ

本解析からは、「抗がん治療を受けながら在宅医療を受ける」意向を確認するためには、まず、医療者側でどのような時にどのようなことが在宅医療で提供できるのかを明示することが必要であると考えられた。

おそらく抗がん治療と併用する在宅医療の適した状態は、①通院が何らかの状態に困難だが病状としては比較的安定している患者に対して現在病院で提供しているのと同様の医療を提供するもの、②体調が悪い時に支持治療や苦痛緩和を行うもの、③希望する患者に対して病院での抗がん治療と並行して支持治療・緩和治療・精神的サポートやがんに関する情報提供を行うものが想定される。

その際に、患者の状態をリアルタイムで共有できるシステム（直近の画像所見や血液所見、受けている化学療法がわかること）と、がん治療そのものに在宅医療のスタッフが詳しいことが前提となる。また、かかる費用は患者にとって相応であると判断されるものである必要がある。

一方、通院が負担ではなくかつ通院しなければならないフォローアップをうけている患者、もともと家に入られたくないという考えの患者、および、在宅医療で死を連想してできるだけの治療を受けたいという考えの患者には適さない枠組みであると考えられる。

表1 テーマ分析の結果

<p>1. 回答できないという意見</p> <p>【イメージがつかないのでどちらともいえない/その時にならないとわからない】</p> <p><イメージがつかないのでどちらともいえない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり良くわからない ・イメージがつかない ・メリットとデメリットがわからない <p><その時にならないとわからない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その時その時の状態によって体調や心のありようが変わる・その時の気持ちでどちらを選ぶか決めたい ・その時によって変わるから今はわからない
<p>2. 在宅医療に肯定的な意見</p> <p>【通院する労力が減る】</p> <p><通院の時間がかからない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間の制約から解放される・病院に行く回数が減るから ・通院しなくて済めば仕事を休まなくて済む <p><待ち時間がかからない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも病院で長時間待たされるストレスは無くなる <p><体力の消耗が減る></p> <p>体力が低下しているときはありがたい・体力の消耗が少ない</p> <p><体調が悪い時に助かる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・からだがつらい時に病院に行く手間が省ける ・例えば病院に行きたいが、体調が悪くなってしまっても行かない様な時に在宅でみてもらえたら安心する <p><感染の予防や対応になる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で通院がうまく出来ないとき ・突然の発熱で、コロナとの区別がつかないとき <p><通院手段(自動車の運転など)がない時に助かる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者になり免許証返納したら在宅ケアを受けたい ・例えば私は通院に車で45分かかります 主人はもう免許返納していて長男お嫁さんが仕事のシフト調整をして車で付き添いしてくれますが、急なとき夫と車椅子で電車利用していきませんが雨などの時に困ります ・癌以外に脊椎管狭窄症があり、歩行が困難なので〇〇から〇〇までの通院にはタクシーを利用しているが、往復で2万円かかるので、在宅ケアがあれば経済的に助かる

<身体的な不自由がある>

- ・癌になる前に脳梗塞になり半身麻痺がある。在宅治療ができれば助かる

<通院と通院のあいだでみてほしい>

- ・病院に通院するサイクルの間に見てほしい
- ・次の診察までの間に体調不良が何回かあった為、もしケアがあったらもう少し早く解決出来たかもしれません。なんせ大病を患って 1 人で解決できる人は誰もいないと思います。専門家(ケア)の方々が見て下さるだけでも助かると思います

<タキサンの投与後の送迎が不要になる>

- ・抗がん剤治療の化学療法でアルコールが入った薬を使っていたので、通院時は誰かに送迎をしてもらう必要があったので、在宅で治療が受けられたら便利だと思った

<病院で行うことと同じことが行われる必要がある>

- ・経過観察と薬の処方のためだけに長時間待つ必要のある診察を受けずに在宅で同じことができるのなら大変メリットがある

<在宅診療でも時間の拘束が変わらない可能性がある>

- ・通院回数が減って楽になりそうだが、訪問のために時間等を決められて煩わしそう

<同じ状態で同じ対応なら使いやすい>

- ・体調が悪くなったとき、常に救急外来もしくは担当医に連絡して通院するだけでなく、同じ症状が何度か出た場合活用できると思う

【容貌の変化で外出したくない】

<容貌の変化などで外出したくない>

- ・こんな容貌になって外出したくないから

【ゆっくり関わってほしい】

<病院よりもゆっくり親身に相談に乗ってくれると思う>

- ・いろいろな話を聞いてくれるだけでも気持ちが変わってくると思うし、いろいろな選択肢を患者に与えてくれそうなのでいい
- ・じかにゆっくり診てもらいたい
- ・よりしっかりした対応をしてもらえと思う
- ・より親身になってもらってる気になります
- ・医師の診察は、毎回平均約 30 分程度。聞き漏らしたり、分からないことがある時に十分な時間が取れない。後で仕方なく専門の本を読んで自身に頭で理解させている(必要に応じてネットも調べる)。しかし回答が見いだせない時は、担当医がいなくコンタクト出来ない。メンタル面が矢張りダメージを受けいてもたってもいられない時に、同じ病院の別の専門医に無理やりアポをとり相談している。ケアをして頂ける人が自宅に来てくれるなら精神面等を含め大変助かる。

【苦痛や不安が緩和される】

<抗がん治療に関する副作用の対応をしてほしい>

- ・抗がん剤の副作用はきついので緩和できるようなケアを受けられるといい
- ・治療中体調がすぐれない時などの対処法を教えてください
- ・最近主人にも食道がんが見つかりました。手術の前に抗がん剤治療をうけてがん細胞を小さくしています。その際に 1 週間ほど入院するのですが、退院後ひどい副作用が出て自宅でケアが大変でした。こういう時こそ在宅ケアが受けられれば助かると思います。

<抗がん治療に関わらないがんに関連する苦痛の緩和をしてほしい>

- ・がんによる不快感や苦痛を在宅ケアで緩和できたら QOL が上がる
- ・抗がん剤治療以外のいろいろな症状があるので在宅でみてもらえたらありがたい

<精神的な不安を減らせればいい>

- ・精神的な不安や負担を話せる人がいたらいい
- ・心配事があってもすぐ対処してくれる・身近な相談相手が増える

<抗がん治療に関するサポートがあればいい>

- ・治療する10日前ぐらいから食事制限があるのですが 制限食の補佐をしてくれる人がいると良い

<専門的な情報やアドバイスがほしい>

- ・専門的な知識などの情報を得やすい
- ・よいアドバイスが欲しいから

【急に変化があるときに来てもらえる】

<急に変化があるときに来てもらえる>

- ・急変の時は往診してもらえる・急に具合が悪くなった時病院へ行くより自宅で治療ができれば便利

【進行したときに継続して診てもらえる】

<進行したときに継続して診てもらえる>

- ・元気な時からお世話になっている先生の方が動けなくなったあとも相談しやすい

【安心だから】

- ・安心して治療出来る
- ・安心感が全く違います
- ・安心感が増す

3 在宅医療に否定的な意見

【病院のほうが安心・在宅医療の必要性はない】

<病院の定期通院に加えて在宅医療で行うことがない>

- ・CT や超音波など大きな医療機器を使う検査の後薬をもらう治療のため在宅医療を受ける必要がない

現在の私の場合は月に一度の診察、血液検査、レントゲン検査、CT 検査をしています。在宅医療でできるものが無いような気がします

<検査や治療など専門的な対応を受けたい>

- ・何かあったときは病院の方が安心・ケアは病院で実施した方が安心
- ・機材も必要とすべき専門的治療を受けたい・在宅ケアでは十分な治療が施されない気がする
- ・それでもありとあらゆる治療をして最期的手段にしたい

<通院に困難がないので通院でよい(在宅医療の必要がない)>

- ・身体も動くし不自由な状態ではないので在宅医療の必要性はない
- ・せっかく通院するのだからあえて来てもらう必要はない
- ・通院できるのであればそのときに相談すればよいと思うから
- ・通院できるのならできるだけそこでまとめたい
- ・通院できている間は在宅医療を受けたいと思わないし、受ける必要もないと思っている

<病院と在宅医療とで情報の共有ができないと思う>

- ・現在通院している病院の医療スタッフであればいいが違う医療機関となると患者の特性が分かりづらい。病院だと、治療中も各種検査の結果が分かるのが早く対処ができる、患者に異変が起きても対処が早くできて安心です。
- ・高度な専門的な治療との円滑な連携に不安がある。便利さだけで評価することはできない
- ・同時に医療を受ける際に連携がとれていないと治療方針に違いが出たり、何度も確認を取ったり取られたりとしなければいけないような気がする。療養中に色々と考えたくない

<在宅医療の担当者ががんに詳しくない>

- ・(病院の)ドクターより優れているとは思えない
- ・経験のない医者は信用できない
- ・在宅医療の医師が癌の専門医かどうかわからない
- ・今は手術した先生の病院でアフターもしっかりしているから

<状態の悪化時は入院が必要である>

- ・抗がん剤による免疫抑制により基本的に入院が必要ながんだから

【お金がかかる】

<費用がかかる>

- ・お金がかかる・医療報酬点数が高い
- ・収入がなく従兄弟に面倒をみて貰っているので、在宅医療費が払えない。これ以上従兄弟に負担をかけたくない。少額の負担であれば受けてみたい

【考えたくない・在宅医療が必要な状態になりたくない】

<在宅医療の必要性について考えたくない>

- ・あまり触れてほしくない

<在宅医療が必要な状態になりたくない>

- ・見捨てられた気持ちになるような気がするし気力もなくなる

- ・現時点ではそのような状態になっていないしなりたくない
- ・病院に通院すること自体もがんと向き合うモチベーションになっている。

【異なる意見がかえって混乱する】

<医師が増えると混乱する>

- ・がん治療受けている段階で在宅医療を受けるとどちらの医療方法を信じて良いのか混乱する
- ・どちらかひとつに絞りたい
- ・医者が何人もいると診断結果がばらけてくるので信頼出来る主治医一人で充分
- ・医者が変わること自体大変である。
- ・治療方法が一貫性に欠けるような気がする。主治医との連携が出来ていることが前提なら日常においての小さな不安などを聞いてもらえたらより良く生活が出来るんじゃないか

<異なる意見がきけてよい>

- ・セカンドオピニオンをすることが可能
- ・病気のことが心配で少しでも知識を得たい

【家に来られたくない】

<家に来られると気がつかう・来てほしくない>

- ・一人暮らしなので掃除等が行き届かず、他人に家に入られたくない
- ・家が狭いからケアを受けられる状態でない
- ・家にきてもらうのは気を使うから
- ・在宅医療を受けようと思ったら、家の中を片付けないといけないとか、色々余計な心配事が増える
- ・自分のことが自分できちんと出来ている内は家庭に入り込まれたくない
- ・家に他人を基本入れたくないので。友人との会食は外でしかないし、マンションの定期的なメンテナンスの業者さんが来るとかいうのも本当は嫌だと思ってしまうタイプの人間なのでプライベートな空間に入られるとそれ自体がストレスになって病気が良くならない気がする

<近所の人に知られたくない>

- ・近所の人にあまり知られたくない

資料 回答プール

病院に行く回数が減るから。

1 人暮らしなので通院が大変になったら

1 番良い選択肢なのか判断できない

"3週間に1度分子標的治療薬の点滴を受けていて、不整脈もあるので3時間ほどかかる。

何かあったときは病院の方が安心。"

CT や超音波など大きな医療機器を使う検査の後 内服薬をもらう治療のため 在宅医療を受ける必要がない

"+

通院が大変"

あってもなくてもよい

あまりイメージが湧かない

あまりイメージできない

あまり触れてほしくない

あまり必要性が分からないので

あまり病院意外での治療を考えたことがない

あまり良くわからないから

いい面と悪い面があるから

いつ利用してよいかわからない

イメージ

イメージがつかない

イメージがわからない

イメージがわからない。

いろいろなことが緩和される

いろいろな話を聞いてくれるだけでも気持ちが変わってくると思うし、いろいろな選択肢を患者に与えてくれそうなのでいいと思います

いろいろ安心なので

"いわゆる抗がん剤治療以外の、いろいろな症状があるので、それを在宅で見てもらえたらありがたい。

"

お金がかかる

お金伸びる心配が大きい

"かかりつけの先生は忙しくて在宅医療は出来ない

"

からだがつらい時に病院に行く手間が省けるから。

"がんだと言っても人それぞれ病状にもよるのか私はわりと良い時と悪い時の波が激しくないように思います。

今回は、在宅ケアを受けようと思わないのでどちらともいえないと答えました。

"

がんによる不快感や苦痛を在宅ケアで緩和できたら QOL が上がると思う。

がんの状況によるから

"ガンの部位の内容によると思う

身体も動くし不自由な状態ではないので今現在は在宅医療の必要性はわかりません"

ガン治療の状況によって在宅医療の必要があれば良いと考えています。

がん治療受けている段階で在宅医療を受けるとどちらの医療方法を信じて良いのか混乱する為

ケアが必要になる状況が予測できないから。

ケアは病院で実施した方が安心

ケースバイケース

コロナの影響で通院がうまく出来ないとき

コロナ感染予防。

こんな容貌になって外出したくないから

じかにゆっくり診てもらいたいから。

しんどくて通院できない時に便利

すどれすがない

セカンドオピニオンをすることが可能

せっかく通院するのだから、敢えて来てもらう必要は無い。医療報酬点数が高いし。

そういう状況になってみないと、わからないが、今までは必要なかった。

そうなりたくない

そう思うから

"そう思ったから

"

そこまでの不具合、実感が現時点で無いから。

そこまで必要性を感じない

その時その時の状態によって体調や心のありようが変わるから

その時にならないと 実際には 分からない

その時の気持ちでどちらを選ぶか決めたい

その時の状況による

その様な状況でないのではわからない

それほど大きく考えていない

つらいときに頼れるから

つらい時に来てもらえそう

できる事なら入院治療が望ましい。

どういう感じになるのかがよくわからないので。

ドクターより優れているとは思えない

とくにない

とくはない

どちらかひとつに絞りたい

どちらがよいのか解らない

どんな在宅ケアをしてもらえるか知らないから。

どんな治療をするかわからないが、いつも病院で、長時間待たされるので、そのストレスは、無くなる。

ない

ないよりいいから

なし

なし

なし

なし

なし

なし

なし

なるべく通院回数を減らして苦痛を和らげたい

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく

なんとなく」

なんとなくそう感じるから

なんとなくそう思った。

ひとりだとこれはかなり厳しいのでケアしてくれる人がいればそれに越したことはない。

まず、病院でできるだけの治療を受けられる方が良いと思うので。

まだ一人で行動できる。

"まだ在宅は考えられない。

高齢の方や障害がある方が受けるイメージ"

まだ在宅医療をしていないので実感がないため、どちらともいえないにした。

まだ治療が続いている

"まだ自分の足で病院まで通院できるので。

"

まだ受けた事が無いけど、家に来られると気を使ってしまいそうだから。

まだ詳しく分からないから。

まだ通院できているので、ピンとこない。

まだ通院に支障はないので

まだ必要ない

まだ必要を感じていない

まだ必要性を感じていないから

メリットがわからない

メリットがわからない

メリットがわからない

めんどくさい

やっぱり当事者だけにしかわからない精神的な不安や負担を話せる人がいたらいいと思う。

やはり、より親身になってもらってる気になります

"やはり家で過ごせることで家族との時間が濃厚に持てる大事なメリットがある。

同時に受けれることで時間の使い方をちゃんと考えられることが利点だと思う"

やはり病気のことが心配であり、少しでも知識を得たいと思うから。

ゆっくり相談できる環境だから

よいアドバイスが欲しいから。

よくわかっていないから

よくわからい

よくわからない

よくわからない。

よくわからないが、選択肢は多いにこしたことはない

よくわからないから

よくわからないから

よくわからないから

よくわからないシステムなので

よく実態がわからない

安心できる

安心できる。

安心できるかな

安心感

安心感

安心感がある

安心感がある。

安心感が出る

安心感が全く違います

安心感が増す

安心感が得られる。

安心感と身体的に楽

安心出来る

安静でいられる。

移動などの手間がなくなると、時間が確保できるため

移動時間の制約から解放される

医師に診断してもらうと何となく安心するから。

医師に相談しやすい

医師の診察は、毎回平均約 30 分程度。聞き漏らしたり、分からないことがある時に十分な時間が取れない。後で仕方なく専門の本を読んで自身に頭で理解させている（必要に応じてネットも調べる）。しかし回答が見いだせない時・日は、担当医がいなくコンタクト出来ない。メンタル面が矢張りダメージを受けいてもたってもいられない時に、今は、同じ病院の別の専門医に無理やりアポをとり相談している。また、身近の知人や遠い友人が相談の相手。それ故、ケアをして頂ける人が自宅に来てくれるなら精神面等を含め大変助かる。

医者が何人もいると診断結果がばらけてくるので信頼出来る主治医一人で充分。

"医者が変わる事事態、大変である。

経験のない、医者は信用できない。"

医療・治療の選択肢は多いほうがよいと考えているため

医療の専門家のサポートはありがたいはず

一人暮らしなので

一人暮らしなので、掃除等が行き届かず、他人に家に入られたくない。

一人暮らしなので。

一度も受けたことがないので、実感がないから、ややという表現になった。

一般的には便利だと思います

遠方の病院に通院していたので、体調不良の時に少しのことで在宅医療が受けられたら相談しやすい。

何かあった時に助かりそう

何かと安心出来る。

何となく

何となく
何となくそう思った
何をすればいいのかわからない。
家が1番良いと思う
家が狭いからケアを受けれる状態でない
家で様子を見てもらえる
家で落ち着いて診察してもらえること。
家にきてもらうのは気を使うから。
家のこと、子どものことも出来るから
家事の仕事が楽になる
家族が身近にいると落ち着くので
家族だけで自宅で看るのは大変なので
家族に見られたくない
家族に負担をかけたくない。
家族に迷惑がかかるなら、在宅ケアはしたくないから・・・
家族に頼れない場合もあるので
家族の負担を低減できる
家族の負担が減ると思ったから
家族の負担も軽くなる
家族への負担がかかるのであれば病院にまかせたい気持ちと、家にいたい気持ちと両方混在している
家族への負担が軽減出来る
家族への負担が減るから
家庭生活に安心感が得られる
外出するのが困難なくらい調子が悪い時があるので
楽だから
楽だから
楽だから
緩和ケアにスムーズに移行できる
癌が手術で取り切れていないので、全身に再発する可能性が必須であり、末期は、苦痛その他で住み慣れた環境の自宅中心の治療をしたいから。
癌だけでなくいろいろな悩みを抱えた時の相談ができる
癌になる前に、脳梗塞になり、半身麻痺がある。在宅治療ができれば助かる。
癌の治療による、肉体的・精神的な老化の進行を自覚しているから。
癌の痛み等急な対処をしてもらいたい為
基本的には病院治療が望ましい。
機材も必要とすべき専門的治療を受けたい
気が楽になる
気軽にケアしていただける

気持ちの問題

気持ち的に安心

気分が楽になる

気分が和らぐ。

急に具合が悪くなった時病院へ行くより自宅で治療ができれば便利だと思う

急変の時は往診してもらえる。

金銭的な余裕がないので諸手を挙げて賛成できないが、その部分が解消できるのならば在宅医療を受けたい。

具合の悪い時に病院に行かなくていいから

具体的なことがよくわからないから

具体的な事象を知らないと判断できないので、どちらともいえないと回答した。

具体的な治療内容や頻度がわからないから。

具体的な症状を伝え、対処を依頼

具体的な内容がわからないため。

具体的にどうなるかわからないので。

経過観察と薬の処方のためだけに長時間待つ必要のある診察を受けずに在宅で同じことができるのなら大変メリットがあると思う

経過観察のみで薬を受け取るだけならば、通院の手間が省けると助かる

経過観察間の日程が一ヶ月以上空くのでその間に、在宅ケアしてもらえる制度があるといいと思ったから。

経験がない、のでよくわからない

経験がないから

経験がないから

経験がないから(在宅ケア)

経験がないから答えられない

経験がないので、よくわからないから。

経験がないのでメリットが想像できない。

経験がないので何とも言えない

経験していないので答えられない

経済的余裕が全くないので…

経費負担が問題

検診でガンが判明した時から自覚症状薬の副作用がない

見捨てられた気持ちになるよな気がするし、気力もなくなるから

現在、十分な医療、治療を受けている。

現在、通常の生活が出来ているから

現在ののがの状態では在宅ケアを受けたいとは思わないが、治療しても良くなり悪くなり歩行が困難なようになったならば在宅ケアの方が良いと思う。ただ現時点ではそのような状態になっていないしなりたくないの

現在の私の場合は月に一度の診察、血液検査、レントゲン検査、CT 検査をしています。在宅医

療でできるものが無いような気がします。

現在の症状では、必要性を感じない

現在は元気なので

現在は治療中の状態ではないため、イメージしにくい

現在は通院出来る状況なので

現在通院している病院の医療スタッフで有ればいいが違う医療機関となると患者の特性が分かりづらい。治療中も各種検査の結果が分かるのが早く対処ができる、患者が治療中に異変が起きても病院だと対処が早くできて、安心です。

現在特に生活上で困っている事が無いから。

現時点では、通院に特に困難を感じてはいないから

現実的に対応について受けるまでに至っていないので、思いつかない

現状は在宅医療の必要がないため。

現状在宅ケアを必要としていない。

"現状身体が動くから、通院に支障はない。

在宅ケアが必要な状態でもない

"

現状不便を感じていないので

現段階では、体が動くので在宅医療までは望んでいない。

言いにくい

交通の関係で通院が難しい

交通手段がない場合

効果に疑問。

"抗がん剤による免疫抑制により基本的に入院が必要ながんだから

退院後は在宅でやる治療がないと感じる"

抗がん剤の副作用がきつかったから

抗がん剤の副作用はきついので緩和できるようなケアを受けられるといいと思った

抗がん剤は以前やったが副作用がきついのでそれを抑えられたり相談出来たりしうだから

抗がん剤治療で自宅で体調が悪くなった時など在宅ケアが受けられるなら安心

抗がん剤治療などの副作用が大変強い時など、在宅医療が受けられたら心強い。

抗がん剤治療の化学療法では、アルコールが入った薬を使っていたので、通院時は誰かに送迎をしてもらう必要があったので、在宅で治療が受けられたら便利だと思った。

抗がん剤治療を受け始めたら必要になるかと思えます

行きたくないから

高度な専門的な治療との円滑な連携に不安がある。便利さだけで評価することはできない。

高齢者に限るが介護者の日々の生活が楽になるかな

合理的であるから

今、在宅医療を受けていないので、あまりイメージがわからない

今、必要性を感じていないので。

今のところ3ヶ月間隔の通院ですんでいるから、必要性がない。

今のところ癌の転移はホルモン治療で頻尿、尿漏れはあるが、痛みはないが、痛みがでてきて通院も難しくなった場合に在宅ケアが受けられると助かる

今のところ必要がない

今のところ必要がない

今のところ必要性を感じていない

今の状況で在宅ケアの想像ができない。

今の段階ではまだわからない。

今の通院医療でとりあえず効果が出ている

今はまだ必要がない

今は何も追加治療等ないのでよくわからないから

今は考えていない

今は自分で病院に行って検査や治療ができるから

今は手術した先生の病院でアフターもしっかりしているから

今は必要では無いと思うから

今は必要ないので

今ひとつ具体的な想像がつかないから

今現在、家事全般行う事が出来、在宅ケアを受けなければならないほどの状態ではないので、まだ考えられない。

今現在では考えられないから

今現在は必要ないが高齢者になり免許証返納したら在宅ケアを受けたいと思う

今現在在宅ケアは必要ないから

今後の生活のあり方の参考になるから。

左肺を全摘してから収入がなく、従兄弟に面倒をみて貰っているので、在宅医療費が払えない。

これ以上従兄弟に負担をかけたくない。少額の負担で有れば、受けてみたいと思う。

再発して痛みがあるときに対応してもらえと思う。

最後の選択だとおもうから

細かな事も相談できて良いと思う

"在宅ケア 余り値打ちがなさそう

"

"在宅ケアが、どういうものか全くわからないし、お金がかかるのでは!?"

という心配があるから"

在宅ケアが、まだ良く理解できていないから

在宅ケアがどのようなものなのかははっきり理解できていないので。

在宅ケアがベストな選択肢になるかわからない

在宅ケアが必要と感じなかった

在宅ケアが必要な状況ではなかった

在宅ケアでは十分な治療が施されない気がするから。

在宅ケアでみてもらえるのはうれしいが経済的に余裕がない

在宅ケアについて知らないから。

在宅ケアに興味ない

在宅ケアの、メリット、デメリットが、よくわからない。

在宅ケアの内容がよく分からない為

在宅ケアの内容が不明

在宅ケアの内容を理解していないので、何とも言えない。

在宅ケアの必要性がわからない

在宅ケアの必要性がわからないから。

在宅ケアは、通院ができなくなった場合に利用するという認識がある。

在宅ケアはもう治療方法がなく死を待って少しでも安らかに過ごせるようにしてもらいたいイメージだから。

在宅ケアは高いイメージ

在宅ケアは受けたくない。

在宅ケアをまったく知らないの、わからないから

在宅ケアを受けたいとは思わないから

在宅ケアを受けることは理想でもあるが、日常においての様々なことで家族に負担をかけることは本意ではないから。

在宅ケアを受けるほど、症状が酷くない。

"在宅ケアを受ける必要がない。

年4 会員回の投薬通院で良い(内1回は検査有り

)"

在宅ケアを真剣に考えたことがない

在宅ケアを必要としない

在宅ケア自体不安である。

在宅だと結局家族に迷惑がかかるので、病院入院していた方が良い気がします

在宅だと病状が急変した場合などの時に不安である。

在宅でケアできる領域が有れば、通院の頻度が減らせられる。

在宅では、医療設備がしっかりしていないから、不安である。

在宅では出来ない治療がある

在宅で受けられたら、楽だし、利用しやすいから

在宅で受ける行為がイメージ出来ない

在宅と通院の内容がおなじならば、身体的に在宅のほうが楽におもえたので。通院と在宅ケアの使い分けはどのようにしたらよいかは不明ではありますが。

在宅なら気軽に何でも相談でき、処置してもらえそうだから

在宅のまま治療、経過観察ができれば重症化なくて済む。

"在宅の方が安心だから

"

在宅の方が疲れず診察してもらえそう

"在宅は大変だと思う!

バリアフリーに出来るような家ばかりではないから!

家族が絶対大変!!"

"在宅医療がどの程度なのか不安な為
"

在宅医療がどんな者なのか解らないので

在宅医療が受けられるから

在宅医療が必要かわからないので

在宅医療する医院がわからない。

在宅医療でがん治療が家庭で出来ない(専門医療器具が必要)

在宅医療では医療器材が十分でない

在宅医療で精神的な負担が軽減できる気がする。

在宅医療とはどのようなものかよく分からないため。

在宅医療のことがわからないから

在宅医療のメリットがよくわからない。

在宅医療の医師が、癌の専門医かどうかわからない。

在宅医療の知識がないので、あまりイメージがわからない。

在宅医療の内容が、よくわからないから。

在宅医療の内容が理解できていないので判断できない。

在宅医療の内容や自分自身の体力など未知のことだから。

在宅医療の内容を知らない。

在宅医療は家族に迷惑かけるから

在宅医療と一緒に受けれたら安心してがん治療を行えるからです。

在宅医療を受けた人が居ないため、よくわからない

在宅医療を受けようと思ったら、家の中を片付けないといけなとか、色々余計な心配事が増えるので、通院できるのであれば、あまり進んで在宅医療を受けたくない。一方、通院が困難な時は、外に出なくてもよいのは助かると思う。

在宅医療を受けることが必要ではない

在宅医療を受けるほどでもないから。

在宅医療を受ける状況ではないから

在宅時に不安になることもあるから、在宅ケアも受けられたら不安が解消されると思う

"在宅治療の必要性がない。

通院または、入院で治療ができるから。"

残された時間を有効に使える

仕事に出られない

仕事に復帰したら、できないから。

時と場合によるから

時間が有効に使えるから

時間など気になることもあるが、心強い。

時間な問題

時間の短縮にもなるし、自分も安心

時間的に良い

治療が正確に早く進むと思う

治療する10日前ぐらいから食事制限的あるのですが 制限食の補佐をしてくれる人がいると良い

治療により、日常生活に支障をきたす症状について、いろいろ相談したり、サポートしてもらえたりするから。

治療のオプションが増えると想定されるため。

治療のしようがないから自宅に帰される訳で、在宅ケアは家族にとって大きな負担になる

治療の種類によると思います。

治療の術はなく、在宅医療は最低限の診察しかしなかった。

治療の不安や副作用で日常生活に支障がある際など、サポートが必要な場面があるため

治療をする中で体調不良となった時でもフォローしてもらえそうだから

治療を行なっている病院で診察や薬剤師の面談を受けているため

治療を受けている病院が片道 1 時間以上通院にかかるので、困った時や日常の治療の疑問に答えたり、必要な処置が迅速に受けられるとよい。

治療中の身体的な負担が軽減されると思われるため

治療中の病院にある相談所に対応してもらおうつもりです。

治療中体調がすぐれない時などの対処法を教えてほしい | 人で辛く苦しい時、自分の病気の専門医の医師や看護師に話を聞いてほしい。

"治療費が嵩みそうだし、病院に行って治療を受けられる内は通院した方がいいと思う。

通院が困難になった場合に受けられるといいと思う。"

治療方針が同様であればいい

治療方法が一貫性に欠けるような気がする。

自身で通院する事ができなくなった時助かる

自宅だと精神的に辛くないと思います

自宅での安心か

自宅での過ごし方など具体的な意見を出してもらえそう。

自宅で過ごせる

自宅で過ごせるのが良い

自宅で具合が悪くなったとき

自宅で最後を向かえたい

"自宅で体調が悪く通院できない時、家にきてもらったら便利。"

自宅で体調不良になったときに便利

自宅で普段の暮らしをおくりながら、医療行為を行ってもらえることが、一番ストレスが少ないと思う。

自宅にいる間も病状を診てもらえる。

自宅において治療が受けられるから

自宅に居ながらは便利。

自宅に居ながら医療が受けられる。相談しやすい。
自宅に知らない人々が来るのに抵抗がある
自宅に来られるのが嫌だから
自宅のケアがストレスになる、設備が無くて十分な処置ができない
自宅の方がじっくり話しができる
自宅へ往診、訪問看護が受けられるから。
自分が動ける間は徒歩又は車で通院するが、動けなくなるような状態の場合は、来てもらえば便利ということ。
自分でできるだけなんとかしたいから
自分では動けなくなった場合
自分で車の運転ができない時になれば通院が負担になるのでは・・・
自分で生活できる状況だから
自分で動けない状態なら在宅やむなしかな
自分で動ける状態の時、他人から自宅に出入りされたくない。
自分で病院に行けるなら、在宅ケアは不要。
自分で病院行くのが大変な時がある
自分のことが自分できちんと出来ている内は家庭に入り込まれたくない
"自分の場合は抗がん剤治療の始まる前に症状が出る可能性のある対象薬剤を処方されていたが使用することは無かったが結果薬が無駄になってしまった
在宅医療が速やかに対応できるのであれば最低限の処方済むと思うしその時その時の症状で一番合った対処が出来ると思う"
自分の状況ではないので、想像出来ない
自分の病状では必要はないが、ほかの種類であった場合は状況も違うので、その時々ではないかと考えました
自分の普段の行動に不自由が出た時には受けたい
自分は経過良好だったため具体的には思い付かない
自分は在宅ケアをするほどの状態ではなかったから、必要性を感じない
自分自身が在宅ケア自体がよく分かっていない為。
自由があまり効かない
自立生活できそうだから
質問ができる
実感がわからない
実感がわからない
実際に、そうしてみないと良く分からない
実際にその状況にならなければ判断できない
"実際に受けてみないと、わからない"
"
実際の状況によって、かわるから
主治医との連携が出来ていることが前提で、日常においての小さな不安などを聞いてもらえた

ら、より良く生活が出来るんじゃないかなと思ったから。

主治医以外に相談する相手ができる

手間が省略できる。

"手術、放射線、抗がん剤+分子標的薬と通院かわ長いタイプなので時々、面倒くさくなります。

しかし、まだ動けるうちは、人を家に入れるのに気をつかうので、実際には体が辛くなってからお
願い出来ればありがたいと思います。"

手術を受ける病院が遠いから。

受けられる在宅ケアの内容によっても変わってくると思うから

受けられる治療内容によるから

"受ける必要性があるかわからない

"

出かけずに見てもらえるのは良いが 在宅でできることは限られてくると思うから

出かけなくて済むから

出歩く必要が無いから良い

出来る限り継続して手術をしていただいた医師、病院に状態を観察してほしいから。

出来れば、通院で対応したい

術後は経過観察のみのため

助かると思う

将来の準備のため。

将来的なケアについて計画を立てやすい。

少しでも不安が和らげる

少し早い気がする。

床よく分かりません

症状が酷いときに安心が出来る

症状が重いときは、在宅医療が便利だから!

症状による

症状による

症状の変化を確認しやすいため

詳しい在宅医療の方法など説明がある

詳しくは知らないから。また、その時の状態により違ってくると思うので。

詳しく知らない為

詳細に状況把握が出来るから。

常にがんのことが頭から離れない生活になりそう

状況がよくわからない

状況を理解したケアが出来そうだから

状態が悪い時とかがあるのでそういう時に利用できれば助かるので

色々な話が聞きたい

色々、不安に思う事などが相談できるから。

色々相談しやすいので

色々な治療法が出来ると思います。

"色々な場面で相談や必要なケアが受けられると思うから。

症状によっては早めに受診したいとアドバイスされたり、病院に連絡してくれたりしてくれるから。"

色々な相談を詳細に出来る

色々考えるのが億劫になるから

色々相談できるから

寝たきりになれば考える

心のケアもしてもらえる。

"心の安定

"

心の緩和

心の支えになる

心の問題

心強いと思う

心強い気がする

心配が軽減するから。安心感

心配なことが、すぐに聞けるから。

心配事があってもすぐ対処してくれる。

深く考えたことがないから分からない

真剣に検討をしたことがないから

診察は大学病院なのでもし何かあっても直ぐに相談しづらいため。

"身近な相談相手が増える

専門的な知識などの情報を得やすい"

身近に感じていない

身近に相談できるから

身体がシンドイ時に助かるから

身体がだるくて、通院がままならないと思うとき

身体に不自由さがあるので

進行の度合いによる

進行状況だけでなく、今は新型コロナもあるから

人それぞれなので

正直よくわかりません。

生まれ育った家や長年暮らした家の方が、気持ちも落ち着いて治療に専念できるから

生活が向上するから

生活しながらケアしてもらえる。

生活に支障がきたした場合、便利と思う。

生活に密着できる

生活の利便性が上がると思う

生活レベルを落とさない
生活を優先しながら、安心な生活ができそう
生活面のことも相談しやすい

精神的

精神的、心理的に楽だから。
精神的に心配する必要がない
精神的に落ち着くと思うから
精神面で楽になる
精神面で支えてもらえそう。

設備

選択肢が多い方が良い
選択肢は多いほうが良い
選択肢は多いほうが良い
選択肢は多い方が良い
選択肢は多い方が良い
"早く治りそう
"

相談

相談が出来そう
相談してもあまり意味は無いと思います。
相談する安心
相談できる
相談できる
相談できるという安心感。
相談にのってもらえる
相談出来る人が増える
"足がない方やお年寄りには便利だと思う
"

足が悪いので、自宅に来てくれると助かる
体がきついときに助かる
体がだるい時に自宅で見てもらいたいから
体が辛い際には来てもらえると有り難い
体が辛い時に利用できる。
体が動く間は、通院での治療でよい。
体が動ける状態でケアを受けることに疑問
体が不自由になったとき、便利である。
体に異変があった時などにすぐに相談出来る。
体調がすぐれないときに、病院に行かなくてもみもらえる
体調がすぐれない時にでも継続してみもらえるから

体調が悪いとがん治療医療機関に通院がおっくうになる。そのときに在宅ケアが受けられるとよい

体調が悪い時など、通院するのが困難な時に利用出来たら良いと思う

体調が悪い時など病院に行けない時は便利だと思う

体調が悪くて通いにくいとき、在宅でみてもらえると助かるので。

体調が悪くて病院に行けない時に来ていただけたらありがたいから

体調が悪くなったとき、常に救急外来もしくは担当医に連絡して通院するだけでなく、同じ症状が何度か出た場合活用できると思う

体調が悪く外出するのも難しい時に自宅まで来てくれるのはありがたいと思います。

体調が悪く通院できない時など在宅ケアだと助かります

体調が悪く通院できない状態のとき。

体調が悪化した際に通院しなくてよい

体調が安定していなくても、医療機関につながるのは本人もだが家族も安心できるから。

体調が急に悪くなり病院に行けなくなった時に、自宅での治療をお願いできるから。

体調が急変した時、不安な時、色々なシーンで助けになると思う

体調が大丈夫なら、できれば通院したい。

体調が優れないとき自宅まで来ていただいて体力、体調を改善して行きつけの病院に通院できる環境を期待してる。

体調について直ぐ相談できる。

体調によっては通院できない時など、在宅ケアが受けられると大変助かると思う。

体調に合わせた治療ができる

体調に変化があったときに受診した方が良いか相談できたり治療ができれば便利だと思う

体調の急激な変化など緊急時に頼れる人が近くに居ることは安心になる。

体調の良しあしに関わらず診てもらえるから。

体調を崩すと病院に行くのも困難なため

体調悪い時に助かる

体調悪い時家まで来てくれる所がべんり

体調不良で何も出来なかった時

体調不良などで通院ができない際に助かると思います

体調不良の時に往診してもらえる

体調変化に対応して助言や補助が受けられる

体力が低下しているときは、ありがたい。

体力の消耗が少ない

"体力も落ちたので通院がづらい。

満員電車など"

体力を考える

体力的に問題なければ、通院した方が良い

待ち時間がないので、ストレスがないのが良い。

待機患者がたくさんいる病院より、コロナ感染など考えると安心だから。

大量不良に加えて心身ともにダメージが大きく病院へいくのも憂鬱
単純にわざわざ病院まで行かなくても済むので楽だと思う。
単身生活なので在宅に関与する医療制度はメリットが多いように思う。
"担当医の話しを聞くステージ 4 からの入院した
今は状態管理の通院中
右胸にポート手術し、管理通院も含む"
"知り合いにそういう方がおられたが、残念ながら在宅医療を開始して間もなく亡くなりました。
在宅医療はとても良い制度だと思いますが、タイミングが重要なのではないかと思います。"
直接病院での診察が望ましいと思う
通うのが大変だから
通うのが大変な時に家で治療ができれば安心だから
通院が
通院がしづらいときなど
通院がしんどい時があるから訪問で見て頂けると助かる
通院がそれほど苦にならなかったから。
通院がたいへん
通院ができるのであれば自宅医療を受ける意味合いがないような気がする。ケースバイケース
なのでしょうが基本は病院で見てもらうほうが細かい診断ができるし安心できる。在宅は、通院
できない場合の選択肢なのではないか。
通院ができる時期では不要と思う
通院が緩和されそう
通院が厳しい場合がある
通院が困難な場合の不安が減らせるので
通院が困難な状況のとき
通院が困難な状態では、在宅医療の普及はこれからの時代には、とても大事なことと思う
通院が困難になる可能性があるため。
通院が困難場合がある。病院が遠い。
通院が出来ているうちは、必要ないと思うから。
通院が出来なくなった時に助かる
通院が出来なくなると便利だと思う。
通院が出来るくらいなら、在宅ケアは必要がないと思っている。通院が出来なくなった時に在宅
ケアを受けられれば便利だと思う。
通院が辛いときなどがあるから。
通院が辛い状態であれば在宅ケアというのはありがたいのだろうなあとは思う。が、個人的に、家
に他人を基本入れたくないので。友人との会食は外でしかないし、マンションの定期的なメン
テナンスの業者さんが来るとかいうのも本当は嫌だと思うタイプの人間なのでプライベートな空
間に入られるとそれ自体がストレスになって病気が良くならない気がする。
通院が大変と感じる為。
通院が難しい人にはありがたい

通院が不便

通院が負担になるほどに衰弱した時に助かる

通院が要らない

通院しているのであれば、必要ないと思った

通院している病院が遠いから

通院している病院の先生と違った治療をされないのか不安である

通院しながらがん治療でも、行くのが大変だし苦痛と思う。病院で受けなくても良い治療なら、自宅で受けたい。時間の無駄もはぶきたい

通院しなくても、治療できることがあると思うため

通院しなくてもいい

通院しなくてもよい

通院しなくても良いから

通院しなくても良いから

通院しなくて済めば、仕事を休まなくて済むから

"通院しなくて良いから

待ち時間が長い為"

通院するだけでも大変なので在宅で医療を提供してもらえたら負担が減ると思う

通院すると外来での待ち時間が長くストレスに感じるから

通院するのが体力的にも精神的にもしんどいときありがたいと思う

通院するのが大変だから

通院するのに支障が無い。体調も悪くないから。

通院するのは大変なので自宅で医療を受けられたら大変便利です

通院するのも困難になった場合でも 医療が受けられるので精神的にも安心感がある

通院するのも大変だから

通院する場合、在宅医療は必要ない

通院する予定の日に通院できないときに、在宅医療をしてもらおうと安心できるから。

通院だけで十分

通院できないときに家で診療がうけられる

通院できないほど体力がないとき在宅ケアがあると良い

通院できない時は助かると思う

通院できない場合でも、医師が実際に体調を診てくれるから。

通院できるのであればそのときに相談すればよいと思うから。

"通院できるのならできるだけそこでまとめたい。

継続して通院より頻繁な医療行為が必要なら便利だと思う。

ただ検査は機材があるので簡単ではないように思う。"

通院できる限り、在宅医療を受けたいと思わないから。

通院できる状態だったら、病院の方がいざという時に対応できるのでは？

通院できる状態であれば、通院先の治療や指示にしばって従いたい

通院できる状態なので、特に必要とは思わない

通院できる状態なら、在宅医療は不要だと思うので。通院するのもきつい状態になったら、在宅医療はかなり有効だと思う

通院できる状態なら通院した方が良い。

通院でこと足りている

通院で抗がん剤治療ができているということはまだ在宅ケアは必要ないということ

通院で治療を進められるなら、在宅医療の必要はない

通院で十分な治療を受けられたら、特に必要はないと思う

通院で十分だから

通院で問題ない

通院というのは、元気がないとできないものだから

通院にかかわるリスク(特にコロナ禍で)、肉体的負担が減る

通院には間隔があるため、次の診察までの間 1~2 回位相談や状態を見ていただけるとありがたいし安心です。

通院に時間がかかり、待ち時間も負担になる。

通院に時間がかかること

通院に時間がかかるので在宅ケアが受けられると助かる。

通院に時間が係り(車で 2 時間)、病院でもかなり待たされ(2 時間ほど)るのであったら良いと思います

通院に伴う時間等を含めたストレスが解消されるから

"通院に不便な状態の時に

ッ例えば私は通院に車で 45 分かかります 主人はもう免許返納していて 長男お嫁さんが仕事のシフト調整をして 車で付き添いしてくれますが 急なとき 夫と車椅子で電車利用していきますが雨などの時に困ります"

通院に要する時間等が軽減できると思ったため。

通院のほうがより良い治療や検査を受けられそうな気がする

通院のみでよいから。

通院の回数が減らせる

通院の回数を多少減らせる事で日常生活の幅ができるのではないかと

通院の交通費の負担が軽減する。治療薬の入手が薬局で待たされなくて済む。

通院の困難が回避されるから。

通院の時間短縮。

通院の手間がかからない

通院の手間がない

通院の手間が軽減する

通院の手間が省けそう

通院の手間が省ける

通院の手間後省ける

通院の日に具合が悪い等

通院の必要がない

通院の必要がなくなる。

通院の頻度が減らせるので、肉体的にも時間的にも負荷が減らせるから

通院の頻度が減らせれば便利。オンラインの診療などができればなおいいと思います。

通院の負担が軽減できる

通院の負担が減る

通院の負担が減る

通院の負担が減る

通院の負担も大きいから

通院の負担を軽減できるから

通院の負担軽減

通院の負担減

通院の方が気楽

"通院は1か月に一回なので、その間心のケアがあれば

嬉しい"

通院は時間がかかる

通院は時間がかかる為

通院は受診日が決まって、次の診察まで不安なことあっても解消出来ないけど在宅医療が介入していたら電話などで相談出来る。また、受診した方が良いなどの判断の相談も出来る。など

通院は予約制なので、突然体調が悪くなったりした時、相談や診察をしてもらえること。

通院も自分でできなくなった場合のみです。

通院も大変やから

通院より楽。

通院回数が減って楽になりそうだが、訪問のために病院側に時間等を決められて煩わしそうだから

通院回数が減らせるし、自宅で過ごす時間が増えるから

通院回数が減る。

通院回数が少なくなる。

通院回数を減らす事ができる

通院回数を減らす事ができるので時間的にも体力的にも楽だと思う。

通院治療が難しい時

通院治療だと聞きにくいことも、自宅だとリラックスしてくわしく話ができるように思う

通院治療で十分だと思います

通院治療の際に入院等できなくなるとしたら、在宅でということであればもうすでにできることが限られるということでしょうから、終末医療になるのではないかと思うと、魔族等に迷惑をかけたくない。

通院治療を中心にしたいから

通院治療中の在宅ケアの状況が、具体的に判らない。

通院自体が大変なこともあるだろうし、病院に行って待ったりするのがツライ時もあるだろうから、在宅で治療が受けられたら楽だろうと思うので。

"通院出来ているのであれば

必要ないと思う"

通院出来てる間は他人に頼りたくないし親切な医療従事者を今まで見たことがないから

通院出来ない日も医療体制が整う

通院出来なくなるときに相談出来ると云う安心感。

通院出来るなら、在宅医療の何が必要かがまだ理解していない

通院出来る程度の体調ならば、在宅ケアは必要無い気がする。

通院先が遠距離な時

通院中なら、いろいろな事が聞けそうだから。

通院中は治癒の可能性のある時期なので在宅医療はあまり必要と考えていない。

通院頻度が少なくなる

通院負担が軽減されるため

定期的な CT,エックス線検査は在宅では不可なので通院が必須。ならば、通院の方が家族に負担がかからない。

定期的な検査をする時以外の、経過観察と投薬だけの時は、このコロナ期にわざわざ病院に赴かなくても済ませられると言いなと思う

定期的に手術後に病院へ通院していらが在宅医療ができれば通院費、通院時間が大変助かります。

吐き気があった時期は、起き上がれなくて不安だった

頭で想像していただだけではよくわからない。

動くのが辛いときなど助かる

動けなかったりする

動ける間は、通院治療で可。

動ける内は自分で通院だけしていきたい

同時に医療を受ける際に連携がとれていないと治療方針に違いが出たり、何度も確認を取ったり取られたりとしなければいけないような気がする。療養中に色々と考えたくない

同時に二つの医療にかかることに抵抗がある。

同等の治療ができるとは思わない

特にありません

特にありません

特にありません

特にありません。

特にございません。

特にない

特にない

特にない

特にない

特にない

特にない

特にない
特にない
特にない
特にない。
特になし
"特になし
"

特に在宅の必要を感じない
特に支障はなかったから
特に精神的な負担が軽減できると思うから。
特に積極的な理由はない
特に必要性を感じない
"特に必要性を感じないため
"

特に無い
特に無いです。
特に無し
特に無し
特に無し
"特に無し
"

特に理由はない

突然の発熱で、コロナとの区別がつかないとき
内容がよくわからないし、実際の場面が想像つかないから
内容がよくわからないので
内容が不明
内容が良く解らないから
二重に医療を受けるのだとしたら費用が嵩むし、元気な間は必要ないと思うから
肉体的、精神的に楽になると思う。
日によっては体調の変化があり、通院出来ない時など。
日常での対応ができる
日常レベルで治療を細々と続けることで精神的にも安心感が得られそう
日常生活が送れるから
日常生活に支障を来たす時。
日常生活の様子が具体的に理解してもらえる。
日常生活面で便利になる
日々の疾患での諸状態への対応等で。
日々安心して過ごすため
日々調子が異なるので状況による
入院して治療してる方が安心するが、元気ならば在宅で治療を受けてもいいかな？。
入院しなくていいから
入院しなくて良いから
入院治療を望む
"脳腫瘍 レベル 4 ですが仕事がまだ出来てるのでなんとも言えない。
通院できるなら、病院でじっくり見てほしい。"
煩わしい気がする。
費用が重なる
費用面が心配でどちらが良いか分からない
必ずしも満足出来る治療が出来るとはかぎらない。
必要がない
必要がないのでは
必要ない
必要ない
必要なかった。
必要な時のみ通院すればよい
必要に迫られておらず、想像が困難
必要性をあまり感じない。
必要性を感じない
必要性を感じない
病院が遠い
病院が遠いうえ、かなりの時間待たされたから

病院が遠いから、具合が悪くなった時など、来てもらえると安心だから、
病院が近いので通院できる体力があるうちは通いたい。
"病院だけだと、そのときは緊張していて、気づかなかったり、
先生に遠慮して聞けなくて、家に帰ってからモヤモヤしたりすることがある。でも家に帰ったとたん、
通院から一変して、普通の生活を自分でしなくてはいけないことが、心身ともに負担なときがある
るので、在宅でフォローしてもらえると安心感がある"
病院だけだと不安の為
病院での治療でないと安心できない
病院での診察時間が限られているので、在宅で少しの不安な症状などを相談できる時間があれば、大変ありがたい。
病院での待ち時間がなくなるから。
病院での待ち時間がなく自宅で待機できる
病院では、忙しそうなので、在宅従事者に尋ねることも出来る。
病院ではケアが行き届かない事が解消されそう
病院では何かあればすぐに医療につながるが、在宅ではすぐには難しい。費用面においても
頻繁にきてもらうことは難しいだろうとかがえるとどちらともいえないになった。
病院では言えない治療方針を在宅では言えそうだから。
病院では出来なかった事をお願い出来そうだから
病院で治療してもらいたい
病院で治療を受けられるのであれば、在宅で受ける必要性を感じない。
"病院で主治医に直接聞けるが、聞きにくいこともある。
在宅で不安に寄り添ってもらいながら、話を聞いてもらうだけでも、大きな支えになる"
病院で先の見えないのなら家で過ごしたい
病院で待たなくても良い
病院で聞きにくい事も、在宅ケアだとゆっくり聞くことが出来ると思う。
病院と同様の治療は困難と思われるので
病院に行く回数が減ればリスクもなくなるのでいい
病院にいた方が安心なため
病院に行かなくいい
"病院に行かなくてよい
コロナを気にしなくて良い"
病院に行くことが困難な場合、在宅で治療できれば体の負担が楽になる
病院に行くこと自体が体力を使うし、コロナ禍では密になりやすい
病院に行くのが大変
病院に行くのも辛い日もあるので、来てもらえれば助かる。また人に見られずに治療したいときも
あるから。
病院に行くのも体力がいると思う。
病院に行く時間が減らせる。
病院に行く時間が省けるから

病院に行く頻度が少なくて済みそうだから。
病院に行けないくらい、体調が悪いと思うから
病院に行けない日も自宅まで医師や看護師が来てくれるから安心
病院に行っても採血と投薬だけだから
病院に行って採血した結果で診断するため、在宅での診察が難しい
病院に通える状態であれば、病院での治療の方が上だと思うから。
病院に通わなくてよい、起き上がれなくても治療できる
病院に通院していたら在宅医療は必要だ思わないから
病院に通院することが難しくなったら
病院に通院すること自体もがんと向き合うモチベーションになっている。
病院に通院するサイクルの間に見てもらえるから。
病院に通院する時間を減らせる。
病院に通院で充分だ
病院のが設備がしっかりしていて安心できる
"病院のほうが、あらゆる面で
対応ができる"
病院の時間以外に具合が悪くなった時に安心
病院の治療と同時進行だと安心度が違う
病院の治療を優先したいので
病院の滞在時間が減るから
病院の通院だけでも十分な気がする
病院はきめ細かいケアをしてくれないから。
病院は待ち時間も長く、多くのことを相談できないため
病院は予約が必要なので、相談事があっても予約を取らないと行けない
病院への通院が辛いときがでてくれば、利用したい
病院へ行った方が安心
病院へ通院しない日に安心である
病院までの往復時間などを考えるとありがたい。
病院まで通えない時や、副反応等で生活に支障があるときには在宅ケアを受けたい。
病院よりリラックスして医療を受けることができそうだから
"病院より自宅の方がストレスはないので。
それでも、ありとあらゆる治療をして最期の手段にしたい。
"

病気について まだよく分かっていない
病気の種類にもよるが、在宅医療を受けるときは相当症状が進行している時であり、通院できる
なら在宅医療を受けるといれりつくせりでなくて良いと思うから
病気の程度にもよる。
病気等の具合や家庭環境によって判断が変わるから。
病状が悪化すると、通院が辛くなると思うので

病状による

頻繁に動けないから

不安がある。動けなくなったらお願いすると思う

不安が解消できそう

不安だから

不安な事があつたりした時、すぐ対応してくれそうな気がする。

不安を解消できる精神的な支えそしてくれるといいかも。

父が胃がんで通院が難しいほど体力が、無くなっていた時に在宅ケアを勧められた。入院を拒否していたのでうちでいられる事が本人も家族もとてもありがたかった

父が容易に動けない

父のがん治療で、とても助けになったので。

父親が末期がんで最後は自宅で過ごしたいと退院した時に往診にきてもらい助かった。

負担軽減

副作用が辛くて病院に行くことが厳しい時には依頼したい

副作用で日常生活がままならなくなった時のために

副作用などで、普段の生活が不自由な時 助けてもらえたらと思う。

副作用などへの不安が解消できる

副作用についての対処療法をしてもらえると、うれしい。

副作用の辛さ等の愚痴を聞いてもらいたい。

複数の意見が聞ける

分からない

分からない

分からない

分からん

聞きたいことをまとめておいて主治医に直接聞くことができる。

聞きたいことを遠慮なく聞けそうな気がする

並行治療ができるのはありがたい。

別になし

便利

便利かもしれないが、現時点で在宅医療が必要とは思っていない。(手術後 5 年経過し、再発していないため。どちらか言えば再発の否チェックで通院)

便利だから

便利だとおもうけど、自分は受けたくない。

便利だと思う

本人はラクかもしれないが、家族は大変

本当に困っていることに対してのケアがない

毎回通院する手間が省ける。

毎日は通院できないので次の予定日までに不安があれば在宅医療で治療があれば安心できそう

末期医療な気がするので精神的にもたない

無理の効かない時

面倒

薬が処方されないので

薬で快方に向かっているので在宅ケアは必要なし

融通が利く場合

夕飯を作る元気冴えないとき

予約通院なので急を要する事態の時にすぐ対応してくれる気がする。

理解できてないから

理由は無し

両方から治療受けることができるので

両方の選択肢が常にあるのは良い

良くわからないから

良くわからないから

"良く判らない

"

良く分からないから

良く分からないから。

良く理解していない。

例えば病院に行きたいが、体調が悪くなってしまっても行けない様な時に在宅でみてもらえたら、安心する。

"例え一年に一度だろうと、通院のためにスケジュールを割くのはめんどうだ

ただ在宅ではマンモ等の機械検査はできないのじゃないかな"

連携を図りながらスムーズに在宅医療に移行できそう。

腕が上がらなくて困っている時に、自宅に看護師さんや薬剤師さんが来てくれたらありがたいと思うから。